

## 陳情書

本会議一般質問などの審議時間を延長することなく、定時に終了することを求め~~る~~陳情  
る

|       |   |
|-------|---|
| 陳     | 情 |
| 第 2 号 |   |



(件名)

# 本会議一般質問などの審議時間を延長することなく、定時に終了することを求め~~る~~陳情

(趣旨)

1. 陳情の第一の目的は、前回「一問一答制」を陳情させていただいたことと同様に、三鷹市議会に実りある審議を求めています。

一般質問は、9:30から5:00まで、昼休み、および若干の休憩をもってしても、審議延長によって、続いているのが通常です。たった二日間で終了させたいために、延長もやむなしが慣行になっているように思えます。でも、市民にとって重要な本会議の一般質問が、今のような長時間というのは、個々の議員の限界を超えているように見えます。居眠りや他議員の質疑に注意を払い切れないのは無理なことです。各議員の問題意識の発表会に終わらせるだけでなく、さらなる議論の活性化という視点から、安易に延長するのではなく、翌日の審議にまわすなどの運営を考えていただきたいです。

2. 第二の目的は、議員の「働き方改革」です。

市議会議員も一市民、家庭があり、家族がいることを考えれば、無理な労働時間設定は、議員自身の生産性を下げ、議員を取り巻く家庭環境に多大な負担をかけるものと考えます。議員は定例会以外に登庁する自由度があるようです。でも、土日祝日、時間外のイベントや市民との交流等で、熱心に活動をしている議員を見かけます。だからこそ、定例会期中は、定時開始、定時終了に配慮した議会運営に努めていただきたいです。そしてそれ以外の時間を有効に使って、より多くの市民と語り合い、三鷹市政の糧となるような見聞を広めていただきたいです。

3. 第三の目的に、議会運営に多様性を重視する価値観の反映を求めます。

昨年の市議会選挙で、多くの若い議員が選ばれました。小泉環境相が育休宣言をし、これからは、女性議員だけでなく、男性議員も育休取得が一般化して来ました。また介護も、全てを「嫁」が担わず、男女それぞれ、自分の親を介護する流れになってきています。育児しかり、介護しかり、男女の別なく公平に分担される時代です。子育てはもちろん介護、病気など事情があつて無理が利かない人たちや、多様な価値観を持った人々と共に生きるからこそ、無理を是正する発想や商品、サービスが、次々と新しく生み出され、社会を活性化させると言われます。現代社会が多様性を尊ぶ方向に進路をとる先陣を切って、多様な議員が困難を乗り越えて活躍できる、「共感力」豊かな三鷹市議会であらんことを望みます。

令和2年 2月 20日

(宛先)

三鷹市議会議長 石井 良司 殿

(提出者)

住所 三鷹市

氏名 藤井 ルリ

電話